



【弥栄】日本連盟組織拡充顕彰受賞



2025(令和7)年5月24日(土)に福岡県で開催された日本連盟2025年度全国大会にて2024年度スカウト加盟員数が前年度を超えたことにより、北海道連盟が表彰を受けました。

加盟員の減少が長年続いておりますが、皆さんのたゆまぬ努力によりスカウト増加に至りました。

引き続き中途退団抑止と、新規加盟員の増加にご協力いただくとともに、人と地球によりよい未来をつくるスカウト運動を各団、各地区で推進していただきますようお願いいたします。

人と地球に
よりよい未来を

CONTENTS

- 第7回北海道・東北ブロックキャンポリー北海道会場…2 ページ
- 第19回日本スカウトジャンボリー…9 ページ
- 2025北海道カブラリーin秩父別…10 ページ
- 2026新春誌上賀詞交換…16 ページ

STEP UP! FROM NOW TO THE FUTURE



7TH HOKKAIDO TOHOKU BLOCK CAMPOREE

第7回北海道・東北ブロック
キャンポリー北海道会場

記事作成 7HTC北海道会場 **7HTC** 部

第7回北海道・東北ブロックキャンポリー 北海道会場

北海道と岩手県で分散開催

2025年8月8日～11日に第7回北海道・東北ブロックキャンポリー(略称7HTC)を開催しました。東北会場は岩手県国立岩手山青少年交流の家で、北海道会場は旭川地区野営場にて勇壮な岩手山・大雪山の麓に北海道・東北ブロックのスカウトが一堂に会し、大勢の仲間たちとの楽しいプログラム活動を通じて、自己の視野を広げ、自立したスカウトへの成長に資することを目的に、3泊4日の野営が行われました。

北海道での開催は2005年の第2回帯広大会以来、20年ぶりとなりました。

北海道会場概要

日程:2025年8月8日(金)～11日(月) 3泊4日野営

会場:ボーイスカウト旭川地区野営場

参加者:104名(ボーイスカウト46名で2個隊 ベンチャースカウト15名で1個隊 ローバースカウト1名含む)

テーマ:「ステップアップ!」～「今」から「未来」へ

イメージソング:アルバム(作詞・作曲／森崎博之とCDJ ALL STARS)

東北会場にはローバースカウト1名が参加

旭川第21団ローバースカウトの神原希生さん(画像左端)が参加し、セレモニーでは北海道連盟旗の旗手を務め、東北会場のスカウトとキャンポリー生活を送りました。



8月8日 DAY1

1日目はあいにくの雨で、全道各地から会場に着いたのも束の間、各隊のスカウトは素早くキャンプサイトをつくることが求められる中、出会ったばかりの仲間と協力して設営を行いました。

開会式ではスカウト運動のつながりの象徴である世界スカウト旗が入場し、北海道会場と東北会場とのつながりを感じることができました。

ちかいとおきての唱和、大会イメージソング斉唱、代表スカウトによる開会宣言などにより7HTCが開会しました。

夜には編成隊内の交歓会「結束！我らの隊」が開かれ、スカウト及び指導者の自己紹介、7HTCの意気込み発表などを行いました。

スカウト開会宣言

私たちスカウトは、ここに集う仲間とともに、
「7HTC」の名のもとに、力を合わせ、挑戦を楽しみ、
友情を深め、自然を敬い、
自分自身を鍛えることを誓います。

HTC—それは、
Hope(希望)、Honor(誠実)、Health(健康)、
Happiness(幸福)、Harmony(調和)、Help(奉仕)、
そして Challenge(挑戦)、
おきての中にある“H”を実行する
Training (訓練・修練) Camp (キャンプ・自然活動)
だと考えています。

私たちは集えることの喜びを胸に、仲間を信じ、
ルールを守り、目標をやり抜くスカウトであり続けます。

北の大地に立つスカウトとして、
全力でプログラムに取り組み、心を育て、
仲間とともに進む未来をつくることを誓います。

ボーイスカウト旭川第21団
ベンチャーチーム 神原歩夢



8月9日 DAY2

2日目は本格的に編成隊活動と班対抗プログラムが始動しました。

かまどを工作し火をおこし、ポップコーンができるまでの時間を競う「火を絶やすな 火おこし」、シートとロープワークを用いて日除けができるまでの時間を競う「レスキュー・ルーフ」、モールス信号を受信し、メッセージを解読するまでの時間を競う「SOS・モールス信号読み取り」いずれも班のチームワークと普段から身につけた技能が試されるものでした。

ベンチャー編成隊では自らが計画したプロジェクトに挑戦し、目標を達成するために会場の内外で活動することで、自分の将来を切り開くきっかけをついた様子でした。

夜には編成隊同士の交歓会「キャンドルナイト」が開かれ、隊の垣根を越えた交流が行われました。



8月10日 DAY3

野営生活にも慣れてきた3日目は、旭川地区野営場から歩いて約1時間の距離にある、「写真のまち」東川町で場外プログラム「写真コンテストin東川」を行いました。

前日に班で作成した計画書のとおり東川町まで移動し、当日に渡された想定文にある「今しか撮れない7HTCの記録」を残すため、市街地の指定エリア内で写真撮影を行いました。

夏らしい青空の下、各班は快活に東川町へ移動し、撮影エリアでは東川町教育委員会のご協力のもと、参加班にデジタルカメラが手渡され、真剣な顔でレンズをのぞきながら、班で見つけた様々な風景や瞬間をシャッターに収め、7HTCの思い出をひとつひとつ残していました。





キャンポリーナイト 閉会式



第1隊スタンツ



第2隊スタンツ



ベンチャー編成隊スタンツ



優秀班表彰



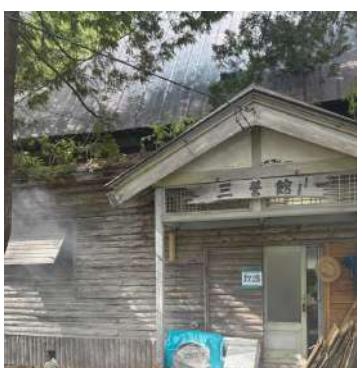
プログラム部スタンツ



新しいアルバム 今日ひとつ増えた喜び
出会えたこと祝おう いつかまた会える日まで

8月11日 DAY4

最終日の4日目は、朝からの撤営と、編成隊の解隊式が行われました。
「残すものは感謝のみ」の言葉どおり、各隊のキャンプサイトから「弥栄」のエールが響き、7HTCで得た全てのものへの感謝と、共に野営生活を過ごした仲間や指導者との再会を願いました。





キャンポリーで 駆け抜けた夏 プログラム部から ひとこと

●プログラムづくりにあたって

「19NSJに繋がるようなキャンポリーにする」と目的を決めて進めていきました。色々な方からアドバイスを受け「これでいい」ではなく「これがいい」というプログラムを作っていました。

●スカウトからの嬉しい言葉

参加したベンチャースカウトがキャンポリーをきっかけにカブラリーに参加すると言ってくれました。

大会はひとつひとつ別物ではなく、繋がっていると改めて実感しました。

●ブロックキャンポリーの魅力の再確認

多くのスカウトと活動できる希少性と、スカウトに与える教育的影響を鑑みてもブロックキャンポリーには多くの魅力があり、日本スカウトジャンボリーへの参加気運醸成の副次的効果が見込まれることから、継続して開催されるべきだと思いました。

●おわりに

大変貴重な経験と有意義な時間を過ごすことができました。

編成隊指導者、奉仕スタッフの皆さんにおかれましては、体力の限界を超えてのご奉仕大変お疲れさまでした。



編成隊 第1隊



編成隊 第2隊



ベンチャーブロック



実行委員会・運営スタッフ



STEP UP! FROM NOW TO THE FUTURE
スカウトプログラムは終わらない… エクストリーム!!





キャンポリーの次はジャンボリー

2026年8月4日(火)～10日(月)に第19回日本スカウトジャンボリー(略称19NSJ)が広島県神石高原で開催されます。

「挑戦～神石から未来への一歩～」をテーマに、全国のスカウトや指導者、そして海外からの仲間も集まって、キャンプ生活やさまざまなプログラムへの参加を通して成長することができます。

8年ぶりに日本全国から一堂に会する19NSJへの参加を通して、スカウトに新しい発見や感動がきっと待っています。友情の絆を結び、海外の仲間との交流も深めましょう！

参加確定申し込みなどの北海道派遣団に関する情報については、適宜ご連絡してまいります。



日本連盟19NSJ特設サイト
<https://19nsj.scout.or.jp>



POLAND 2027

World Scout
26th Jamboree
Scout Mondial



2027年は世界スカウトジャンボリー

世界最大の国際スカウトイベントが、ポーランド・グダニスクで開かれます。“Bravely”(勇敢に)をテーマに、世界中から4万人のスカウトが集まり、冒険、文化交流、そして世界中の友情に満ちた、人生を変えるような体験をします。

日本連盟派遣情報

<https://www.scout.or.jp/member/26wsj>

公式情報(英文)

<https://www.jamboree2027.org>



2025北海道カブラリー-in秩父別

とれじゅーふあーむフェスティバル～ちから合わせて 収穫体験～

8年ぶりに開かれたカブスカウトの全道大会

2025年9月13日から15日の2泊3日の日程で、北海道内のカブスカウトが一同に集い、組活動を中心にスカウトの自主性を育み交流を深めることによって「学び・遊び・想い出が残る」機会をスカウトに提供することを目的に、2025北海道カブラリー-in秩父別を開催しました。

企画・運営は従来の固定観念にとらわれることなく、2024年の全道スカウティング研究協議会で生まれた意見やアイデアをプログラムに取り入れ、ベンチャー・ローバースカウトや若手指導者と参加地区指導者と連携することで、オール北海道で大会づくりが行われました。

大会概要

日程：令和7年9月13日(土)～15日(月・祝) 2泊3日宿泊

会場：秩父別町ファミリースポーツセンター、ふれあいゾーン21、町内各農場

参加人数：250名（カブスカウト78名、ビーバースカウト29名含む）

テーマ：とれじゅーふあーむフェスティバル～ちから合わせて 収穫体験～

あいことば：じえいJ・えいA【J=JOY（喜び、満足、成功）A=Action（行動、活動）】

大会ソング：緑のおくりもの（作詞・作曲／山本徹浄）

主催：日本ボーイスカウト北海道連盟

協賛：秩父別町、秩父別町教育委員会、北いぶき農業協同組合、秩父別振興公社

後援：日本ボーイスカウト留萌地区、日本ボーイスカウト秩父別第1団



大会シンボルマーク

北海道を背景に、りす・うさぎ・しか・くまのカブスカウトが、収穫した野菜を手に取って集まることで「とれじゅーふあーむフェスティバル」を表現した独創性の高い素敵なデザインです。
デザイン／坂下葵依（北見第2団カブスカウト）



9月13日 1日目

参加者集合・開会式

全道各地からスカウトがぞくぞくと入場し、スカウトはカブコールとビーバーコールにより開会式に集合しました。

濫谷信人秩父別町長をはじめ多くのご来賓の方にお越しいただき、激励のお言葉をいただくとともに、大会シンボルマーク表彰、スカウト宣言、大会ソングの斉唱によりカブラリーが開会しました。



とれじやーふあーむへようこそ!

とれじやーふあーむへやってきたスカウトへ秩父別町の生産農家の方と、ファームマスターからの歓迎の挨拶をいただき、カブラリーを盛り上げる「とれじやーふあーむの妖精」の紹介、妖精にちなんだ野菜に関する4択クイズを行いました。

スカウトは選択肢が書かれたかかしに駆け寄り、正解に一喜一憂しながら、体と頭をフルに動かしていました。

また、組活動を行う8組のスカウトとデンリーダーの紹介があり、一緒に活動するたくさんの中間の存在を確かめました。



9月14日 2日目

収穫体験・ゲームで楽しくいこうぜ!

とれじやーふあーむでは、お米の稲刈り、ブロッコリー、さつまいも、ミニトマトの収穫体験を行いました。

6月に秩父別第1団と留萌地区のスカウト関係者が植えた320株が、秋晴れのとれじやーふあーむで鮮やかに実り、作物に触れたスカウトは大興奮の様子でした。

また、カブラリー会場内に設けられた6つのゲームブースにて、組対抗や個人対抗のゲームに挑戦し、組のチームワークを競いながら、開催地である秩父別町の魅力を知り、挑戦する気持ちや達成感などを得ることで、とれじやーふあーむを満喫することができました。





とれじゅーふあーむ感謝祭

夜はとれじゅーふあーむ感謝祭が開かれ、1日目で作ったオリジナル法被を着て、カブスカウトのモットー「いつも元気」の掛け声で始まりました。

祭壇にまつられた野菜を囲みながら、とれじゅーふあーむの妖精による歌と踊り、スカウトとのコール&レスポンス、ベンチャー・ローバースカウトによる「きつねダンス」で会場はお祭りにふさわしい盛り上がりとなりました。





9月15日 3日目

優しい心でいっぱい

最終日はとれじやーふあーむを通じて、野菜やお肉などの命を頂いて、生かされていることに感謝を込めたメッセージカードを一人ひとりが作り、模造紙にまとめてることで全てのカブラリー参加者に優しい心が芽生えました。

閉会式

閉会式ではカブラリーの振り返り動画の上映、前日のゲームの表彰、スカウト宣言、大会ソングの斉唱などがありました。

次回のカブラリーの開催地が発表され、大会旗が秩父別第1団のカブスカウトから、札幌第1団のカブスカウトへ渡りました。

カブスカウト、ビーバースカウトはそれぞれ感謝の祝声を送り「大きな輪」「仲良しの輪」でカブラリーが閉会しました。

収穫した野菜やお米は、参加団に持ち帰り、おいしくいただくことができました。





とれじゅーふあーむから 参加者へ感謝のメッセージ

2025北海道カブラリーin秩父別では、地元の生産物の収穫体験やゲーム交流を通して、1人よりたくさん仲間がいるからこそ楽しめる事、食物の命を頂き私たちの命が生かされていること、その命や縁が結ばれていることをスカウトに感じてもらい、自分の命は勿論、他の人々や生きている全ての命を大切にして行こう! そんな気持ちを世界中に広げられるのはボーイスカウトだと…

ビーバースカウトやカブスカウト、デンコーチ、ベンチャー奉仕隊の心のどこかに刻まれ、今後の活動に活かしてもらいたい、カブラリーはそこで終わりではなく続していくという願いで開催しました。

食に関しては、留萌地区と秩父別の保護者の皆さんのご協力により心のこもった手作りのお弁当を用意していただきました。

皆さんのたくさんの笑顔、元気な合言葉、一生懸命に取り組む姿は「とれじゅーふあーむの宝」となりました。

皆さんご参加いただきありがとうございました。



次回は3年後
札幌市で
お会いしましょう!



2026新春 誌上賀詞交換

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

連盟長
北海道神宮名譽宮司

副連盟長
北海道スカウトクラブ幹事長

吉田 源彦

大橋 和子

新春弥栄！

《道連維持財団への更なるご理解とご支援を》

北海道連盟維持財団 評議員
北海道連盟スカウトクラブ会長
旭川地区協議会元副協議会長

宮内 紀代志

新春弥栄

石狩地区

地区顧問	大橋 和子
地区顧問	猪股 巖
地区協議会長	佐々木 健三
地区委員長	小林 幸治
地区副委員長	高塚 浩正
地区会計	田中 弘子
監事	桜吉 登美子
監事	安和 智恵子
コミッショナー	柴崎 勇人
副コミッショナー	佐藤 雅秀
副コミッショナー	今野 桂子
副コミッショナー	飯田 康弘

あけましておめでとうございます

胆振地区

地区協議会会長	滝口 信喜
地区協議会副会長	熊野 正宏
地区委員会委員長	小笠原 貢
室蘭第1団団委員長	高倉 健司
登別第1団団委員長	木原 靖之
伊達第1団団委員長	辻 正博
苫小牧第2団団委員長	永井 承邦
コミッショナー	村中 啓子
事務長代行	小笠原 貢
地区会計	長田 孝子
地区監事	福井 洋幸
地区監事	松橋 恵一

謹賀新年

ボーイスカウト北海道連盟監事
札幌第4団 団委員長

北 秀継

新春弥栄

札幌地区

顧問	藤岡 順正
相談役	北野 義城
地区協議会長	北 秀継
地区副協議会長 (監事)	野内 吉徳
地区委員長 (組織拡張委員長)	菊地 一泰
(真狩野営場管理運営委員長)	陰能 裕一
地区副委員長 (真狩野営場管理運営副委員長)	櫻谷 政雄
地区副委員長	池田 佳津枝
進歩委員長・指導者養成委員長	武市 喜博
野営行事委員長	吉田 浩
健康安全委員長 (真狩野営場管理運営副委員長)	千葉 邦郎
広報委員長	上原 克己
国際委員長	荻根沢 一也
財政会計委員長	小竹 知巳
事務長	瀧澤 ひろみ
事務次長	二木 恒治
監事	菊池 重芳
地区コミッショナー (団・RS部門)	瀧澤 ひろみ
副コミッショナー (BVS部門)	武市 喜博
副コミッショナー (CS部門)	池田 佳津枝
副コミッショナー (BS・VS部門)	

謹賀新年

旭川地区協議会

地区顧問	川村 武雄
地区顧問	森 豊
協議会長	森 豊
副協議会長	浅野 玲子
地区委員長	高橋 明
地区副委員長	山口 淳
野行委員長	山口 淳
組織広報委員長	高橋 明
リーダー委員長	杉田 肇
野営場委員長	神原 弘
財政委員長	神原 弘
会計	高橋 明
事務長	河崎 紀男
監事	池内 勝
コミッショナー	杉田 肇
副コミッショナー	村上 政義

新春弥栄

留萌地区

留萌第1団	団委員長 櫛井 二三夫
留萌第2団	団委員長 下田 満
秩父別第1団	団委員長 寺迫 公裕
羽幌第2団	団委員長 小寺 光一
美唄第8団	団委員長 マンフレード フリデリッヒ
地区協議会長	櫛井 二三夫
地区委員長	寺迫 公裕
地区コミッショナー	木下 亮

新春弥栄

日本ボーイスカウト北海道連盟

秩父別第1団 団委員長

寺迫公裕

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

理事長 三国 久介

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

副理事長 **下田 好徳**

謹賀新年

= 組織拡充は力なり =

日本ボーイスカウト北海道連盟

副理事長 **高橋 明**

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

コミッショナー	吉田 淳一
副コミッショナー	飯田 貴光
副コミッショナー	加藤 由麻
副コミッショナー	木下 亮

新春弥栄

日本ボーイスカウト北海道連盟

常任理事 **池田 君松**

新春弥栄

日本ボーイスカウト北海道連盟

常任理事 **野内 吉徳**

新春弥栄

日本ボーイスカウト北海道連盟

常任理事 **得能 和成**



そなえよつねに
ボーイスカウト



斧の響き 162号 (2026年1月1日発行)

発行・印刷: 日本ボーイスカウト北海道連盟 / 発行責任者: 北海道連盟 理事長 三国久介

〒062-0934 札幌市豊平区平岸4条14丁目3-40

北海道ボーイスカウト会館内

Tel 011-823-7121 / Fax 011-814-9377 E-Mail bs-hokkaido@douren.org